

令和3年11月5日

各 位

会社名 ジョルダン株式会社
代表者 代表取締役社長 佐藤俊和
(コード番号：3710 JASDAQ)

**熱海市で産学官連携による観光客誘致と交通弱者救済のための
「あいのり」タクシー活用次世代観光・地域交通プラットフォーム構築実証事業開始
ー観光客と地域交通弱者のための便利で低コストな乗換案内連動のシェアサービスを実現するー**

ジョルダン株式会社（代表取締役 佐藤 俊和、以下ジョルダンという）、は、熱海市（市長 齊藤 栄）の支援の下、熱海市商工会（会頭 内田 進）、熱海市観光協会（会長 中嶋 幹雄）、熱海市温泉ホテル組合（組合長 森田 金清）、静岡県タクシー協会熱海支部（支部長 原 規公）、熱海高校（校長 鈴木 康之）、国立高等専門学校機構沼津高等専門学校（校長 中村 聡、以下沼津高専という）、株式会社エクトラ（代表取締役 中村 達也）と、この度、ジョルダンが観光庁より受託した、令和2年度第3次補正予算事業、事業者連携型既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業「熱海観光消費促進プラットフォーム構築実証事業」の円滑な遂行と事業化のための支援組織として「熱海次世代観光・地域交通プラットフォーム協議会」を設立し、「あいのり」タクシー活用次世代観光・地域交通プラットフォーム構築実証事業を開始します。

事業では、協議会の支援の下、乗換案内と連動する魅力的な観光コンテンツの動画配信を通じた観光客の誘致と、誘致した観光客が、その観光コンテンツに触れるための便利で、低コストな移動支援を行うシステム提供を行います。また当該システムを応用した、地域交通弱者のための、前者同様、便利で低コストな高付加価値の移動支援システム提供を行います。

事業期間は、12月中旬から2022年2月末までを予定しています。

ジョルダンでは、この実証事業を通じて、乗換案内事業の付加価値化と、乗換案内と連動する情報アクセスから移動サービス提供までをシームレスに行う、従来なかった新しい観光・地域交通プラットフォームビジネスの立上げを目指します。

これに先立ち、地域における準備作業への理解を深めるため、観光客に事業実施を知ってもらうため、またジョルダンの従来の利用者へ新しいジョルダンのサービスを知ってもらうために、協議会が開催する2021年11月8日の記者発表会の場においてサービスの説明を行います。

※詳細は添付資料をご覧ください。

以上

【一般の方からのお問合せ先】

ジョルダン株式会社
営業本部・公共交通部
井上（佳）/長竹/大橋
TEL:03 (5369) 4052
mail : biz-info@jorudan.co.jp

【報道関係からのお問合せ先】

(ジョルダン 広報担当)
株式会社VAインターナショナル
田中/後藤/西岡
TEL:03 (3499) 0016 / FAX:03 (3499) 0017
mail : vai@va-intl.co.jp

※会社名、製品名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

NEWS RELEASE

熱海市で産学官連携による観光客誘致と交通弱者救済のための
「あいのり」タクシー活用次世代観光・地域交通プラットフォーム構築実証事業開始
—観光客と地域交通弱者のための便利で低コストな乗換案内連動のシェアサービスを実現する—

概要

ジョルダン株式会社（代表取締役 佐藤 俊和、以下ジョルダンという）、は、熱海市（市長 齊藤 栄）の支援の下、熱海市商工会（会頭 内田 進）、熱海市観光協会（会長 中嶋 幹雄）、熱海市温泉ホテル組合（組合長 森田 金清）、静岡県タクシー協会熱海支部（支部長 原 規公）、熱海高校（校長 鈴木 康之）、国立高等専門学校機構沼津高等専門学校（校長 中村 聡、以下沼津高専という）、株式会社エクトラ（代表取締役 中村 達也）と、この度、ジョルダンが観光庁より受託した、令和2年度第3次補正予算事業、事業者連携型既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業「熱海観光消費促進プラットフォーム構築実証事業」の円滑な遂行と事業化のための支援組織として「熱海次世代観光・地域交通プラットフォーム協議会」を設立し、「あいのり」タクシー活用次世代観光・地域交通プラットフォーム構築実証事業を開始します。

事業では、協議会の支援の下、乗換案内と連動する魅力的な観光コンテンツの動画配信を通じた観光客の誘致と、誘致した観光客が、その観光コンテンツに触れるための便利で、低コストな移動支援を行うシステム提供を行います。また当該システムを応用した、地域交通弱者のための、前者同様、便利で低コストな高付加価値の移動支援システム提供を行います。

事業期間は、12月中旬から2022年2月末までを予定しています。

ジョルダンでは、この実証事業を通じて、乗換案内事業の付加価値化と、乗換案内と連動する情報アクセスから移動サービス提供までをシームレスに行う、従来なかった新しい観光・地域交通プラットフォームビジネスの立上げを目指します。

これに先立ち、地域における準備作業への理解を深めるため、観光客に事業実施を知ってもらうため、またジョルダンの従来の利用者へ新しいジョルダンのサービスを知ってもらうために、協議会が開催する2021年11月8日の記者発表会の場においてサービスの説明を行います。

■背景

熱海市は、近年、観光客層が変化し、若年層が多くなり、宿泊客が減り、観光消費額も低下し、観光客の移動範囲も市街地及び近隣に限られるようになりました。

この結果、地域全体としては観光消費が減り、一部の観光事業者を除き、多くの観光事業者が厳しい経営状況に陥っていました。

この状況は、コロナ渦と災害で、より顕著になり、廃業を余儀なくされる事業者も多くなっています。これはバス路線の縮小が続き、地域の足として頼られるタクシーにおいても例外ではなく、事業継続に危機感を感じている事業者も少なくはありません。

また一方では、多くの観光地に見られるように、地域では高齢化が進み、高齢者の移住者も増えていることから、バス路線の縮小と自動車免許返納の動きも絡んで、交通弱者が増えています。

このような状況下で、ジョルダンでは、乗換案内と沖縄や宮古島で実証を続けているMaaS（Mobility as a Serviceの略）の仕組みを活用して、既存観光地、特に上記のような状況にある熱海市の、観光事業振興に貢献できないかと考え、熱海市の有志と地域交通弱者の足であるタクシーの維持存続を前提に、これらの状況改善のためのシステム構築を考え始めたのが、本事業立案のきっかけです。

■目的

熱海市の有志の目的を達成しつつ自社の次世代ビジネスモデルを構築する。

－熱海市有志の目的－

- ①現在の顧客層である若年層の行動範囲と消費拡大
- ②従来の客層であった中高年齢層の呼び戻し
- ③コロナ後の新たな客層としての外国人の呼び込み
- ④地域交通弱者の救済と交通不便地域の解消
- ⑤④を実現する地域住民の足であるタクシーの維持存続
- ⑥避難支援等将来に向けたプラットフォームの活用研究

■事業実施主体

ジョルダン株式会社

■事業支援機関

熱海次世代観光・地域交通プラットフォーム協議会

■事業実施期間

2021年12月中旬～2022年2月28日まで

※補助事業自体は2021年10月8日～2022年2月28日までです。

■支援対象事業内容

1 動画コンテンツ連動型ミニツアー

熱海地域の魅力を配信する動画配信サイトと連携する、「あいのり」タクシーを用いた、広告告知から運行まで、シームレスにつながる、ミニツアーの実証サービスを実施します。

実証サービスは、観光庁の補助事業予算により、事業の効果や事業化のための問題点・課題を抽出するため、無償で行います。

2. 「あいのり」による高付加価値移動サービス

観光客や交通不便地域を中心とする地元住民の、買物や食事、医療サービス、アミューズメントサービス、スポーツ施設サービス等、熱海市内で実施される、さまざまなサービスの利用を目的とする移動のために、乗換案内連携サービス・施設紹介システムと連動する「あいのり」タクシーを利用したコストシェア型の高付加価値で効率の良い、移送サービスを提供します。

サービスは、観光庁の補助事業予算により実施する、事業の効果や事業化のための問題点・課題を抽出するための無償の実証サービスと、無償の実証サービスの結果を反映した、観光庁予算を使わない、許容料金やサービス内容を検証するための有償サービスより構成されます。

無償サービスについては、事業予算の関係から移送回数*に限りがあり、利用客を限定する必要があるため、予約制とし、予約の確認はジョルダンのモバイルチケットによる乗車券を活用。スマホの電子チケット、デジタルタクシーチケット等で行い、ペーパーレス、キャッシュレスを推進。買い物便、病院便、ホテル便及び観光スポットを巡るサブスクチケットなど、交通弱者や交通不便地域にとって便利な新モビリティモデルの創出を目指します。

有償サービスについては、無償サービス終了後、観光客や交通不便地域を中心とする地元住民のニーズを基に、本事業終了までの間実施します。

両サービスとも予約は、スマホのアプリ、キオスク端末、電話にて受付します。

3. タクシーによるお弁当及び料理の配送サービス

観光客や交通不便地域を中心とする地元住民のうち出歩くことが出来ない人達向けに、人の代わりに、お弁当や食事を店舗から自宅に運ぶ「あいのり」タクシーを用いた搬送事業の実証事業を実施します。

実証サービスは、観光庁の補助事業予算により、事業の効果や事業化のための問題点・課題を抽出するため、無償で行います。

4. 運行の規模と方法

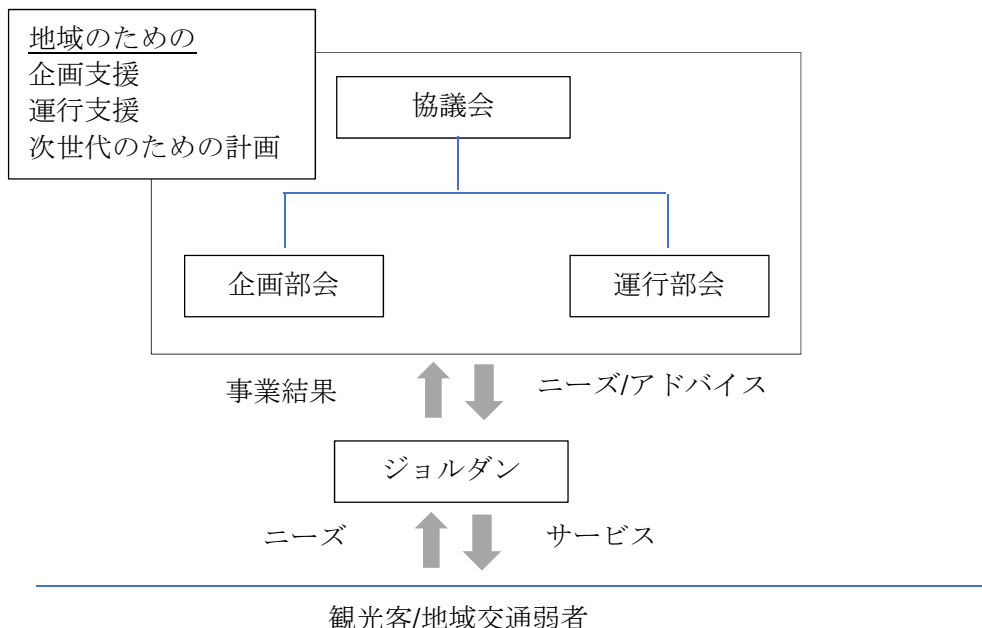
実験期間中の運行回数*に限りがあり、利用客を限定する必要があるため、予約制にして、予約の確認はスマホの電子チケットまたは目視・口頭の確認にて行います。

予約は、スマホのアプリ、キオスク端末、電話にて受付します。

注) * 全体の運行回数は900回を予定しており、それをニーズによってサービス毎に割り振ります、送・搬送回数を約900回としており、それをニーズによってサービス毎に割り振ります、

■事業体制

ジョルダンは協議会のメンバーとして参加するほか協議会の事業支援の下に事業を遂行していきます。



■役割

産学官それぞれの役割を活用して効果的な支援を行います。

1) ジョルダンの役割

熱海市において補助事業に必要なシステムを構築するとともに他メンバーの支援の下、事業を推進します。

2) 協議会の役割

(1) 協議会組織の役割

協議会・・・支援事業の方針決定と実施結果の評価支援を行います。
事業終了までに3回の開催を予定しています。

企画部会・・・ニーズ調査から運行企画までの支援を行います。

運行部会・・・企画された運行に関しての支援を行います。

(2) メンバー個別の役割

熱海市(アドバイザー)・・・事業に必要な地域の情報提供や地域における調整業務の支援を行います。

地元経済団体等・・・事業に必要な地域事業者に関する情報提供や調整業務の支援を行います。

ジョルダン・・・補助事業遂行を通じて熱海市のための次世代観光・地域交通プラットフォーム構築に必要な情報を収集し、プラットフォーム構築を推進します。

沼津高専・・・熱海高校が作成するコンテンツの効果的な配信システムの開発支援並びに運営支援を行います。

熱海高校・・・地域住民や観光客のニーズ調査支援と、調査結果を基にした誘客や広告・告知のためのコンテンツ作成支援を行います。

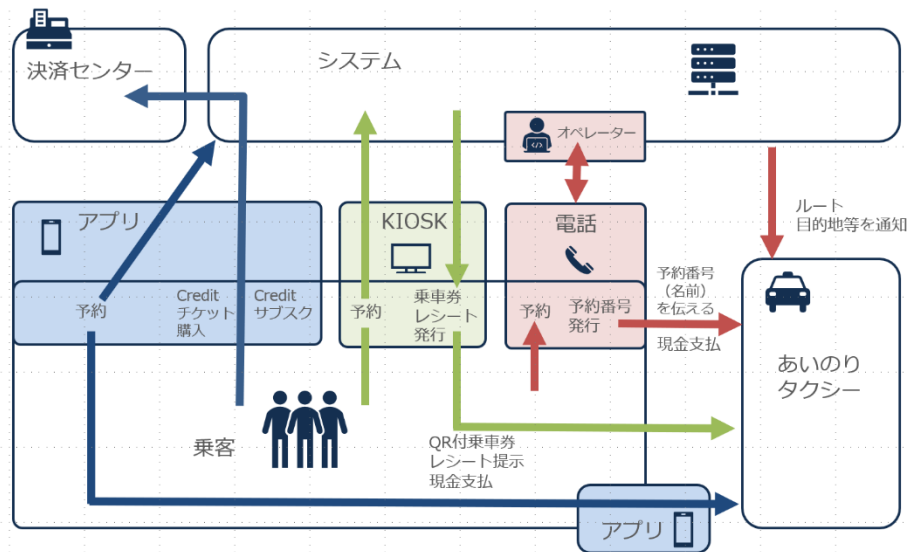
■事業資金

観光庁の補助事業費と自社費用により事業を推進します。

■事業で使われる「あいのり」のプラットフォーム

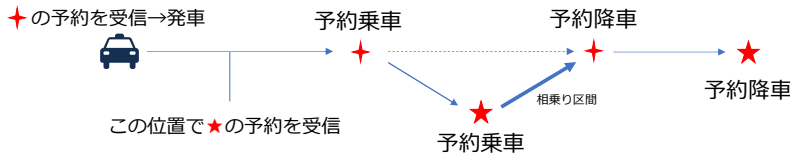
今回の全ての事業では、AI を利用した「あいのり」システムを、プラットフォームを使っています。

1. 「あいのり」プラットフォームを用いたサービスイメージ
すべてのサービスを、AI を利用してシステムが、管理しています。

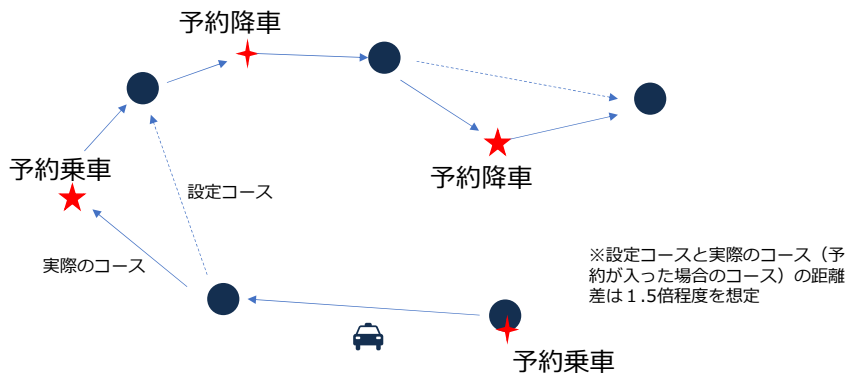


2. 「あいのり」プラットフォームによる運行イメージ
AI を利用することで、コストシェアを前提とした効率的な運行管理を実現しています。

- デマンド型運行
- 待機して予約が入ると予約乗車地点へ移動、その後予約降車ポイントへ向かう。



- 最初の運行以前に、次のポイント以降で次以降のポイントから一定以下の距離かつ走行予定時間内に予約が入るとあいのりが成立



■記者発表について

報道関係者様を対象に、下記の日程で記者発表（事業の説明と質疑応答）を行います。

日時：2021年11月8日 17:30～ ※1時間～1時間半程度

場所：月の栖（つきのすみか）熱海聚楽ホテル

〒413-0011 静岡県熱海市田原本町 2-19

<https://atami-juraku.co.jp/>

【ジョルダン株式会社へのお問合せ先】

■一般の方からのお問合せ先

営業本部・公共交通部 井上（佳）／長竹／大橋

TEL：03-5369-4052 E-mail：E-mail：biz-info@jorudan.co.jp

■報道関係の方からのお問合せ先

ジョルダン 広報担当 (株)VAインターナショナル 田中／後藤／西岡

TEL：03-3499-0016 FAX：03-3499-0017 E-mail：vai@va-intl.co.jp

【実証実験に関するお問い合わせ先】

■熱海次世代観光・地域交通プラットフォーム協議会準備会事務局

TEL：0557-48-6696 FAX：0557-48-6719

【担当者】

石田 浩二 Mobile：090-6149-0009 E-mail：ishida@criek.com

井上 佳国 Mobile：090-7410-3502 E-mail：y-inoue@jorudan.co.jp

以上